



NO.447

R6年11月1日

発行

〒869-1217

熊本県菊池郡

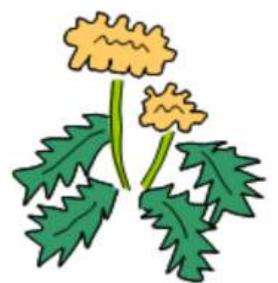
大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



【訳】正しいと思って意見すると反感を買う。相手に媚びると足元をすくわれる。人間関係は難しい。ぎくしゃくして生きづらい世の中だなあ。

私の好きな先輩

理事長 松田 健

若い頃(三気の里に勤める前、

教員だった時)先輩から飲み会に誘われるのがイヤでした。週に2、3回飲み会がある時代でした。同年代で行き、不満をぶちまけるのが1、2回、先輩から誘われるのが1回ぐらいだったでしょうか。凄い時代でした。先輩から誘われる飲み会は、セクハラ、パワハラ盛りだくさんで1回行くと2度と行きたくないと思いました。しかし、それでも断れない力関係下にありました。

もちろん、勉強になる先輩、面白い先輩、尊敬している先輩と一緒に過ごさせていただく時は嬉しかったです。今の自分を作ってくれたとも思っています。酒のつぎ方、受け方にはじまり、翌日お礼をいうことが大事だと

教えていただきました。

今職場で若手にこの手の話をすることは皆無となってしまいました。ひざを突き合わせて、ひざを交える重要性も聞かなくなりました。特にコロナ後変わってしまいました。飲み会は強制でなく自由参加を基本としているため、今の時代が当たり前だと思います。行きたくないのと言えなかった時代が間違っていました。ハラスメントの横行も許せない状況でした。自分がされてとても嫌な思いをしました。先輩に同じ思いをさせてはいけないと強く思います。

コミュニケーションをとる場面は飲み会だけではありません。いろんな機会を通してコミュニケーションを取るように努めていきたいと思っています。しかし、飲み会に参加し、時には、喧々囂々(けんけんごうごう)

う)、侃々諤々(かんかんがくがく)と議論しあうことも大切だと思います。議論しなくても参加し、時間を共有するだけでもいいのではないのでしょうか。

人口がどんどん減っていくのと同じように飲み会がどんどん減っていくのは寂しい気もします。飲み会も0になった時、人間相手の仕事をする人も少なくなっていくのではないかと飛躍したことを勝手に想像しています。

私は、夏目漱石「草枕」の冒頭を思い出します。智(ち)に働けば角が立つ、情に棹(さお)させば流される、意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい。



すごく生きにくい世の中がくるのではないか。迫っているのではなく、もう来ているかもしれないと思います。

人間関係は難しいものです。「誰かを変えてあげたいとか、改善してあげたいと思うのは良いことです。まずは、自分自身を変えることから始めてみませんか?他人を変えようとするより、はるかに利益は大きく、危険はほとんどありません。

(D・カーネギー『人を動かす』)「福祉の仕事は、言うまでもなく他人さまの人間関係の調整、介入を行う仕事です。とても難しく、しかし、やりがいのある仕事です。話し合うことが大事だと思います。それをケチってはいけないと先輩が教えてくれました。

# 11月



## 『ピザ作り体験』

10月8日、1班のレクリエーションがありました。前回の8月に予定していたレクリエーションが、台風で中止になった為、皆さん待ちに待ったレクリエーションでした。

今回は、美里町にある「元気の森かじか」に行き、ピザ作り体験をしました。到着して、施設の方の説明を聞き終わると、いよいよピザ作りの始まりです。数名ずつ順番で作ります。器用に麺棒を使い生地を伸ばす方、粉まみれになる方、具材を上手に並べてトッピングする方、一人一人違う、それぞれのマイピザができていきます。最後は、施設の方に、窯で焼いてもらいます。焼きあがるまでの数分間、利用者さんは皆さん窯を見つめ、今か今かと待っていらっしゃいました。ピザが焼きあがった方から、食べていきます。自分で作った焼きたてのピザは、格別だったのではないのでしょうか。

皆さんの笑顔を見て、もっと利用者さんと色々な体験がしたいと思いました。

生活支援員 吉田理江



### 『ハンバーグとすき焼き』

今年度より二班配属となり、利用者さんのことや班の作業を沢山学ばせてもらっている日々です。その中で、先日、外出に行くことができました。私にとっても、Aさんにとっても、一緒に行く初めての個別外出でした。メニュー表を見るなり、Aさんはいつも決まったメニューがあるようで、すぐにハンバーグと決められていました。私が決めかねていた時、季節限定メニューを見つけられたAさん。いつも頼むハンバーグにしようか、季節限定のすき焼きにしようかしばらく迷った末…すき焼きを選ばれました。いざ届いてみると器用に卵をかき混ぜられ、すきやきの最後の一滴まで余すことなくきれいに完食されました。普段、三気の里の中ではゆったりと行動されるAさんですが、もりもりと食べ進める新しい一面を見ることができました。嬉しく思ったと同時に、これからも色々な場所に行き、一緒に美味しい物を食べる時間を過ごしたいなと思いました。

生活支援員 渡邊里奈



### 『心境の変化』

早いもので入社して3年目を迎えました。入社した頃を振り返ると前職が高齢者福祉の私にとって同じ福祉でも様々な面で衝撃を受けたことを今でも思い出します。

知識や経験が乏しい1年目は正直支援より戸惑いの毎日でした。2年目、少しずつ利用者様の特性やコミュニケーションの取り方を覚え「利用者様にとって安心できる支援員になりたい」と考えるようになり、3年目、利用者様の自立課題や取り組みを増やしていく中で出来ることが増え、落ち着いて過ごす事ができるようになり、私のエゴですが「もっと色々な事を経験してもらいたい」と考えるようになりました。

前職では看取りも多く、最期を迎えた時に「あれもやってあげられていたら」といった「たられば」が多く今でもふと思い出します。平均年齢50歳の三気の皆様にはまだ時間があると思ってしまいますが、1日1日を大事に一緒に沢山の事を経験して、一緒に成長させていただければと思います。

生活支援員 田淵晃一



# 療育雑記

『ひとつめ』

主任 友尻陽也

三気の里に入社し、生活支援員という仕事を始めて6年目になります。三気の里に入社する前は医療法人が経営する介護老人保健施設で支援相談員3年、同一法人の医療機関で医療福祉相談員を4年勤めていました。相談員はソーシャルワーカーといい、福祉や介護、医療、教育などの業界において、問題や悩みを抱えている人の支援や援助を行う職業のことをいいます。ソーシャルワーカーの基本的な姿勢としてバイステックの7原則があり、「個別化」「意図的な感情の表出」「統制された情緒的関与」「受容」「非審判的態度」「自己決定」「秘密保持」の7つからなります。

医療機関での医療福祉相談員では地域包括ケア病棟という病棟に所属していました。60日間が期限の病棟で入院した患者さんが安心して退院するにはどのように支援をすれば良いかを、医師、看護師、理学療法士、管理栄養士などと話し合い、退院後の自宅での生活を整えるために、家族、ケアマネージャー、福祉用具業者などと連携を行っていました。日々の業務で経験を重ねるにつれて、似ているケースについては自分の中で「退院後はこのように組み立てれば大丈夫」という気持ちで連携や調整を行っていました。ある日、退院前のカンファレンスに来ていたケアマネージャーさんから「友尻さんは若いのに人の人生を背負う仕事をしています。すごいですね」と言われました。言われた時にはピンとこなかったのですが、「人生」というワードの重さもあり、私の中で考え、ソーシャルワーカーとして浅はかな考えで仕事をしていたことにショックを覚えました。たとえ似たケースであっても患者さん一人ひとりが抱える悩みや課題、困難な状況は違います。同じ人は存在しないし、同じ問題も存在しません。

バイステックの7原則の「個別

化」とは先入観や偏見にとらわれず個別の問題として関わるべきという考え方です。三気の里の利用者さんが個々で抱える問題は、生活環境や感情、支援員の関わり方により、変化していきます。大きな声が苦手な方や接触過敏がある方、視覚的な情報により混乱される方など様々です。

現在三気の里で働き始めて6年目になります。まだまだ勉強中の身ですが、この経験は活きることもあれば、先入観や偏見のきっかけにもなります。役職をいただき、後輩も増えてきました。「人生を背負う」とは直接支援だけではなく、トイレ掃除や行事の準備、パソコン業務もすべて繋がっていると思います。私自身の考えを、私自身で咀嚼し、先輩にも相談をしながら後輩にも伝えていきたいです。「今後の人生を背負う」。重い言葉としては無く、想う言葉として日々の業務に精進します。



# の工便り

『これから』

世話人 田畑仁美

六月に入職し、グループホームの世話人として皆様の日頃のお手伝いをする事になりました。はじめの食事を作ったり洗濯や掃除をして、皆さんが快適に過ごしていただけるように心掛けてやっています。たまに新とひだまりにもお邪魔します。その時に名前を覚えてくださり話しかけてもらえた時はとても嬉しかったです。

先日、食事の準備ができたと思っただけは、Aさんに皆さんにお知らせするように声をかけました。Aさんは動きません。そして「ごはん」と言われませんでした。私がお飯をついでいなかった。食事の準備は終わっていません。このようないない失敗もありますが、利用者さんに教わったりしながら働かせていただいています。

もう四ヶ月、まだ四ヶ月ですが、毎日皆さんに教わりながら私自身も成長したいと思っています。これから色々な企画などを利用者さんと一緒に考え、利用者さんの生活を楽しく彩りのあるものに出来るよう、頑張りたいと思います。

# BETREE

『新たな挑戦』

生活支援員 有馬幸奈

BETREEでは8月末から10月上旬にかけて、仕事の一環として、昭和園や大津町の施設の剪定・草取り作業を行いました。

つつじの上を覆っているツタを取る作業、合間から出ている細い竹を切る作業、雑草取りなど分担しながら取り組みました。猛暑の中だったため、お茶とスポーツドリンクにアイスノン、汗拭きシートを常備し、30分に1回程、涼しい車の中で休憩を挟みながら、体調にも十分留意して挑みました。スタッフ15名、利用者さん36名のグループを作って作業を行い、時にはビデオ通話をして進捗状況を確認し合いながら進めていきました。慣れない中、スタッフの話を聞きながら一つ一つ丁寧に取

組む方、一度流れを掴むと、どんどん次に進んでいく方、それぞれの良さを活かし、皆で協力しながら広い敷地を整備し、綺麗になる様子が目に見えてわかり、また業者や施設の方に声を掛けていただけたことも励みになっていったと思います。

スタッフも、利用者さんの新たな一面を知ることができ、とても良い時間となりました。



# 相談

『平穏』

相談支援専門員 武谷 祐子

私が福岡から阿蘇に移住して1年8ヶ月、三気の里に相談員として入職してから7ヶ月が経ちました。何もかも一から始める生活は不

安でしたが、少しずつこちらでの生活にも慣れ、『移住して良かった』と思う日々を送ることができています。

考えてみると、若い頃は毎日の生活を振り返ることもあまりなかったように思います。それが歳を重ねるとともに、日々の生活のありがたさを実感するようになりました。

私は利用者さんの直接支援に関わることはほとんどありませんが、移動中の皆さんを見るのが好きでよく見えています。調子のいい時悪い時、何か気になる様子の日もあります。作業時とは違った様子を見られるのが良い所です。

利用計画書を作る際に親御さんに今後の希望を伺います。いろいろな意見が挙がるなか、ほとんどの方が『穏やかに過ごしてもらいたい』と願われます。これから先、利用者の皆さんが三気で穏やかな日々を過ごせるよう、その手助けが出来るといいなと思います。



# 11月スケジュール

09(土) 開園記念祭  
 14(木) 3班レクリエーション  
 15(金) アンパの日・ゴールドクラブ  
 20(水) 誕生会  
 21(木) 嘱託医来診  
 26(火) 避難訓練(地震想定)  
 27(水)~28(木) 強度行動障害実践研修

29(金) 4班レクリエーション  
 5班レクリエーション  
 田中Drケースカンファレンス  
 三気の会理事会  
 毎週月曜日 訪問理容サービス  
 毎週火曜日 BeTREE役場販売  
 BeTREE  
 <営業時間>9:30~17:30



bebree314

## 運動会

『運動会』

生活支援員 早瀬 寛

今年も天候に恵まれ、暖かい日差しの中、運動会を行うことができました。

競技は、30m走、30m障害物競走、玉入れ、そして菓子取り競走をしました。皆さん、一つの競技に一生懸命に取り組み、一位になりました。一位になろうと汗を流す姿、一步一步丁寧に踏みしめるように走られる姿、玉入れでは、上手に球を集めては投げる姿を見ていると、計画した委員として、心にじんわりとくるものがありました。菓子取り競争では、皆さん、迷われながらお菓子を取っていたと聞きました。中には脇にお菓子を3〜4個抱えていた利用者さんもおられたとか(笑)。

お弁当も料亭を思わせるような、豪華な物を作って頂きました。沢山のスタッフの協力があり、今回の運動会を転倒や怪我

などなく、楽しんで終える事ができたと思っています。

利用者の皆さんからも「運動会ありがとうございました」「楽しかった」とお声を頂きました。私も、利用者の皆さんと一緒に運動会ができ、本当に嬉しかったです。



沢山のご厚意

ありがとうございます

ごぎいいます

【寄付物品】

赤星 央子様 上野 育夫様  
 中原 喜徳様 藤井 真由美様  
 中嶋 久枝様 岩切 美佐子様  
 森川 琇介様

【寄付】

柚留木 勝久様

【Vo】

前淵 隆子様 (ブラッシング)

【後援会】

甲斐 真史様 井上 律子様  
 田口 康博様 後藤 琉伍様  
 松山 健様 森川 マサミ様  
 工藤 樹様 菊池 フジ子様

【開園祭協賛】

ファミリー 電器様  
 ヤマモト 住建様  
 ホシザキ 南九様  
 西日本 防災様  
 ジエイアイシー九州様

## 編集後記

11月の誕生色は、恋愛紅葉色(こいそめもみじ)だそうです。この色は、真っ赤な夕日に照らされた紅葉のような濃い赤色だそうです。私は初めて知ったのですが、11月の晩秋のイメージにぴったりだと思いました。

吉田